

まつもと じゅん
松本純

中区・磯子区・金沢区
**まちかど
政治版**



平成17年 8月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂

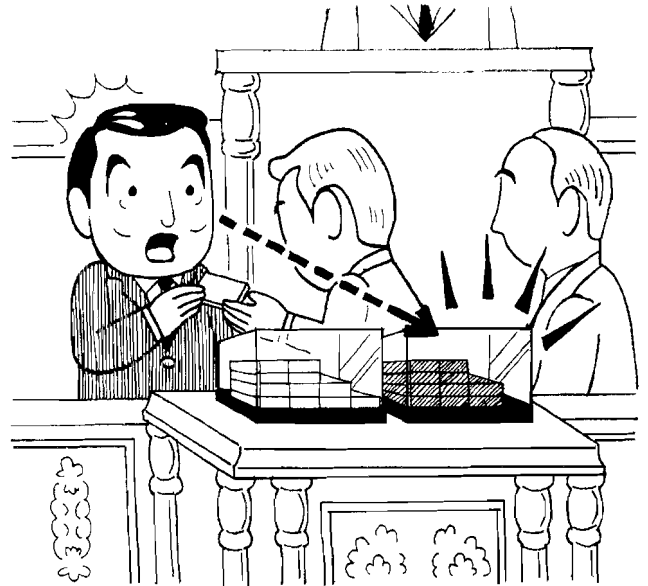
8月号
2005年
No.30

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

「構造改革」は断固進めなければならぬ! 解散を覚悟した郵政民営化法案の衆院採決

「これでは解散だ!」。郵政民営化法案が採決された7月5日の衆議院本会議。私は賛成票を投じましたが、そのときまでに壇上に積み上げられた白票(賛成)と青票(反対)の木札がほぼ同数だったのを見て、法案否決—衆院解散—総選挙を直感しました。

その瞬間、平成8年に初当選して赤じゅうたんを踏んだ日から、次の選挙で落選し、雌伏3年の時を経て、平成15年に返り咲いて今日に至るまでのことが走馬灯のように私の頭の中をよぎりました。「よし、初心に帰って、またイチから再スタートだ」。議席に戻るまでには、そんな覚悟ができていました。



結局、郵政民営化法案は賛成233、反対228で可決されました。僅差でした。ホッとした、というのが、そのときの正直な気持ちでしたが、同時に何だか分からない怒りがこみあげてきました。冷静になって考えれば、日本の再生のために国の仕組みを変えようという構造改革の議論が、いつのまにか「反小泉」の倒閣運動にすりかわってしまったことに対する怒りだったと思います。

私だって特定郵便局長さんと深い関わりをもって政治活動をしてきました。郵政改革を求める人たちの意見も十分聞いてきました。そのうえで、①国民へのサービス低下をきたさない ②職員の頑張りがある職場をつくる ③国益に資する—を前提として、「郵政民営化」に賛成の決断をしたのです。

現在、国と地方をあわせた長期債務残高(借金)は、実に770兆円を超えています。これを次世代に引き継がせないためには、郵政民営化をはじめ、「民でできるものは民へ」という構造改革を断固進めていかなければなりません。

審議の舞台は参議院に移りました。与野党の議席差が小さい参院では衆院以上に厳しい状況ですが、参院の皆さんの良識に期待したいと思います。そして、仮に参院で否決され、衆院解散—総選挙になったとしても、私は年来の主張である構造改革の推進を訴え、有権者の皆さんに「信」を問うつもりです。

松本議員の国会レポート ㉑

平成17年

【6月26日(日)】

午前8時45分 ●産学官連携功労者表彰式
(国立京都国際会議場)

午後5時 ●山梨県薬剤師会総会懇親会
(甲府市)

【7月1日(金)】

午前9時 ●郵政民営化特別委員会

正午 ●横浜市の本多常高副市長来訪

午後1時 ●郵政民営化特別委員会

【7月13日(水)】

午前8時30分 ●社会保障制度調査会・介護委員会

午前11時 ●平和を願い真の国益を考え靖国参拝を支持する若手国会議員の会

午後3時 ●第4回住民基本台帳の閲覧制度等のあり方に関する検討会

午後6時 ●日本アフリカ友好議員連盟懇談会

三菱重工横浜製作所と横浜市消防局、独立行政法人消防研究所が共同開発した「水/空気2流体混合噴霧消火システム」が総理大臣賞を受賞。消火効果を減らすことなく放水量をこれまでの4分の1に抑えて放水による被害や階下への漏水を軽減する画期的な装置です。「横浜発」の技術が認められたのはうれしいことです。すでに横浜中消防署に配備されているそうです。

2008年に日本でサミット(主要国首脳会議)が開かれますが、その開催都市として横浜市が立候補しました。この年は横浜開港から150年という記念すべき節目の年。サミット開催地として、「開港・開国の地」「日本近代化の原点の地」である横浜こそがふさわしい、というわけです。7月22日には「横浜サミット誘致推進協議会」が設立され、私も顧問に就任しました。

この日は評論家、櫻井よし子さんの講演を聞きました。櫻井さんはまず戦後、連合国によって行われた「東京裁判」を見直すべきだと言われました。靖国参拝で問題となっている「A級戦犯」も、この誤った裁判から起こったと指摘。「日本人、特に若い世代は過去の歴史を学び、誤った主張・認識に対してはしっかりと反論すべきだ」という持論を展開されました。



▲ 6/29 横浜・中区を拠点に活躍する寺内タケシとブルー・ジーンズが国会で演奏会。全国の高校を1,000校以上を回り演奏会を通じ、音楽の楽しさや人生に挑戦する心を伝える活動が評価されています



▲ 7/6 ワールドカップの開催国ドイツの次に決定しているのが南アフリカ共和国。そのハウテン州知事一行が表敬訪問にいらっしゃいました



▲ 7/8 金沢文庫駅東口での早朝演説会にて



▲ 7/16 磯子区で一番早い盆踊り 洋光台6丁目南自治会盆踊りにて



7/19 国会見学・中区の山手地区商店街連合会の皆さん

永田町日記 23年間続く草の根文化交流(中区)

私の敬愛する小児科医、向山秀樹先生からのお誘いで6月18日夕、向山小児科医院(中区)で開かれた「6月に音楽を聴く会」に伺いました。先生は音楽を中心にして、地元の人が地元の人のお話を聞くこの会を23年間続けておられます。この日は東京芸術大学の関係者で構成する「東京ヴィジュアルディ合奏団」の演奏を楽しみ、横浜在住の外国籍の方々の「お国自慢」を聞きました。参加する家族が食べるものを一皿ずつ持ち寄るファミリアな集い。私も心からくつろいで、楽しい一時を過ごしました。(純)



音楽会では声楽家による「フィガロの結婚」も披露されました

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘中!。郵政民営化特別委員会委員就任。